

米国に記者として①チュウザイ（ ）したところ、マリナーズに入団したてのイチロー選手を追いかけた。常に②カモク（ ）で、(1) 試合後も心境など語らない。それでも大勢の日本人記者団が③エンセイサキ（ ）で待ち構えた。「日本の記者はイチローのことならひざの④クツシン（ ）まで報道する」と米紙に報じられた▼そのころチームの同僚が彼につけたあだ名は「ウィザード」(魔法使い)。ガラス箱に入れられた⑤テンジ（ ）動物のように大量の視線を終始浴びながら、試合となれば力を発揮する。その姿に同僚たちも感嘆した▼⑥験（ ）かつぎも数々報じられた。忘れがたいのは、グラウンドへ歩き出すときの最初の一步の決め方。右足で踏み出して打てなかった翌日は、左足から。打てた日の翌日は同じ足で。⑦精緻（ ）である▼大リーグで10年もの間、シーズン200本安打という記録を打ち立てた。ただし、(2) その時期ですらスランプに⑧オチイ（ ）った。(3) 安打が途切れ、ふさぎ込むのはたいいてい170本を超えたあたりだ。重圧のすさまじさを感じる。そのイチロー選手がきのう引退を表明した▼ムチのようにしなるバット、ミリ単位の選球眼、レーザービームと呼ばれた送球、驚異的な守備範囲の広さ。「(4) 僕はほかの選手のように特別な才能がないから、バランスがよくなければいけない」。そんな自分への厳しさもファンを⑨ミリョウ（ ）した▼「イイイイイチロー」。大リーグの球場ではイチロー選手が打席に入るとそんなアナウンスが場内に流れた。あの打者紹介がもう聞けなくなるかと思うと、⑩ムショウ（ ）に寂しい。

〔2019年3月22日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(2)の指示内容を30字程度で答えよう。

( )

問三 傍線部(3)の状態を文中の4字のカタカナで答えよう↓( )

問四 傍線部(4)の言葉へのあなたの感想を30字程度で自由にまとめてみよう。

( )

問五 イチローの獲得タイトル数を、語群から選んで( )内に書き入れよう。

a 日本での首位打者( ) b 大リーグでの首位打者( )

c 日本での最多安打( ) d 大リーグでの盗塁王( )

e 日本でのシーズンMVP( ) f 大リーグでのゴールドグラブ賞( )

〔語群〕 ・1回 ・2回 ・3回 ・5回 ・7回 ・10回

問六 次の文中の「」部にあてはまる言葉を後から選び、その記号を○で囲もう。

・おとといの東京ドーム、観客に促され、試合終了後のグラウンドにイチローが再び立った。拍手と歓声が包む。「」その後の記者会見では、ファンへの感謝を何度も口にした。(3月23日付朝日新聞社説より)

A 最後の試合を母国の日本でプレーできたことに感謝しています。

B あれを見せられたら、後悔などあるうはずがありません。

C 花まるです。たいへんよくできました、ですね。